

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科／プロダクトデザイン専攻											
基礎デザイン実習B											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	松浦 泰明			実務 経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
担当教員紹介											
2013年 金沢美術工芸大学 製品デザイン専攻卒業。 2021年までキヤノン株式会社にレンズ交換式カメラのプロダクトデザインに従事。グッドデザイン賞、iFデザイン賞、IDEA賞、アジアデザイン賞、JIDA DESIGN MUSEUM SELECTION GOLD、コクヨデザインアワード2021優秀賞 等受賞。											
授業概要											
立体を造形・構成する基本的なスキルの向上を目的とする。基礎課題を通して、立体造形の基本要素となる形態、色彩、材質、テクスチャーへの理解を深め、デザインツールの正しい使い方と正確な作業を身に着ける。課題を理解し、手で素材の特性を考え、自分の作品を人に伝達するプロセスを経験することで、今後のデザイン業務に必要な基本技術を養う。											
到達目標											
数種類の実習課題を通じて、立体造形・構成力を養い、素材や空間に適した表現ができるようになることを目標とする。段階的に道具の使い方を学び、丁寧な作業で立体物を作製するトレーニングを経験することで、今後実習授業時で求められるデザイン展開力・模型製作力を向上させる。											
授業方法											
紙、スチレンボードなど様々な素材を用いた制作課題を通して、段階的に技量を向上する授業である。立体造形における基礎的な要素、デザイン用の道具の使い方等、講師のデモンストレーションから学びを深め、その後学生自身が作品制作からプレゼンテーションまでの基本的なデザインプロセスを体験する。											
成績評価方法											
プレゼン：20% 制作物の発表方法、内容について評価する 課題完成度：40% 提出課題完成度を総合的に評価する リサーチ：20% 制作準備と過程を評価する 平常点：20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。カッターナイフや接着剤等のデザインツールを使用する際は、怪我や周囲の安全に注意すること。											
教科書教材											
必要に応じてプリントを配布											
回数	授業計画										
第1回	「ガムテープの塑像」 課題理解 / コンセプト立案 / 制作										
第2回	「ガムテープの塑像」 制作										
第3回	「ガムテープの塑像」 プレゼンテーション / 講評										
第4回	「スチレンボードの立方体」 課題理解 / 制作 / 次回課題説明										
第5回	「チョークの彫刻」 課題理解 / コンセプト立案 / 制作										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科／プロダクトデザイン専攻	
基礎デザイン実習B	
第6回	「チョークの彫刻」制作 / 提出 / 講評
第7回	「紙の器」課題理解 / 基礎演習
第8回	「紙のトレイ」基礎演習 / ラフモデル制作
第9回	「紙のトレイ」ラフモデル制作 / 中間チェック
第10回	「紙のトレイ」ファイナルモデル制作
第11回	「紙のトレイ」プレゼンテーション / 講評
第12回	「素材とデザイン」課題理解 / コンセプト立案
第13回	「素材とデザイン」ラフモデル制作
第14回	「素材とデザイン」中間チェック / ファイナルモデル制作
第15回	「素材とデザイン」プレゼンテーション / 講評